

## もみじ福社会 ニュース

## がんばろうや

2014年1月 第66号

発行／社会福祉法人 もみじ福社会



MOMIJI

第一もみじ作業所(生介)  
第二もみじ作業所(生介)  
第三もみじ作業所(就移・就継B)  
福祉ホーム 夢トピア  
ケアホーム つばさ/たんぽぽ/夢トピア/ドリームハウス  
もみじヘルパーステーション夢トピア  
障害者生活支援センター めーぷる  
放課後対策事業 のびのび/わくわく  
〒730-0823 広島市中区吉島西2-1-24  
TEL082-243-0331 FAX082-243-0497  
HP:fukushi-momiji.or.jp

## もみじ福社会の目指すもの(骨子)

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

- 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
- 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
- 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
- これらの実践の要となる、職員の、障害や発達障害、福祉や障害者運動についての専門性の向上につめます。

障害者福祉の  
原点を見据えた  
新たなエネルギーを

もみじ福社会 理事長 浜崎 勝



日本の政治経済そして福祉も、私たち国民一人一人の主体性や価値観が問われる新たな転換期を迎えようとしています。もみじ福祉会は、無認可作業の開所から三十三年、もみじ福祉会法人化から二十年の間、障がいのある皆さんの願いやエネルギーに、また多くの皆さんのご理解と応援を得て様々な事業を起こしてきました。そして障害福祉

への社会貢献の役割を果たしてきました。まさに「自分を誉めたい」と自負できる取り組みをしてきたと考へ、また皆さまに感謝しています。

しかし、もみじ福祉会の「くらしの場づくり」における高齢化・医療問題や、障がいのある人の新たな受け入れなど、今まで以上の福祉施策の動向もからみ、創り出します。そのため、私たちもみじ福祉会職員は、多くの支援者の皆さんに共感と協働をひろげる発信力となる取り組み・実践の提案が大事です。今まで以上に一致団結して頑張らなければ

設当初からの「もみじ福祉会のめざすもの」の理念と現実との課題に直面することが多くなっています。この課題を解決するためのエネルギーの原点は、「障がいのある仲間」たちの夢や願いです。障がいのある仲間たちが「はたらく・くらす・いきがい」の人としての当たり前の権利を全うし、自分らしさを輝かせる人が、自分の当たり前の権利を

ご協力をよろしくお願ひします。今後ともご支援とご協力をよろしくお願ひします。

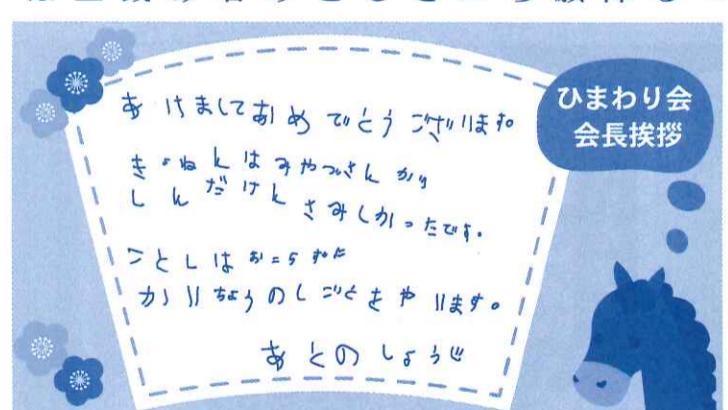


今までで一番うれしかったと森坂さん

今回で三回目となる作業所のお菓子の品評会「ひろしまS-1サミット」に「もみせん(あまだれ)」を出品したところ、なんとスナック部門で優秀賞を受賞しました! 広島県内外の二十五カ所の施設で予選を行い、本選に出場した十カ所の中での優秀賞です。



もみせん 注文受付中!!



年男年女  
好きな言葉





私たち「豊かな文化と遊び」の保障を、「ものづくり」「音づくり」「体づくり」の三つの柱に全力を上げる毎日です。ここ数年全国的に障害児の放課後は変わっています。保護者の声は「どこかに放課後を」から「どんな内容なの」に変わり、質の高い実践が求められています。

今現在「のびのび」も「わくわく」も保護者や関係者から一定の評価を受けておりますが、今年はこれまでの実践を整理し、さらに大きく前進することが求められていると感じております。「のびのび」「わくわく」頑張ります。

### 放課後対策事業「のびのび」「わくわく」

責任者 松尾 俊英

# 研修報

## 告



### きょうされん 全国利用者部会 学習会

2013年11月22日(金)・23日(土)  
(戸山サンライズ)

### きょうされん 学習会に参加して

二〇一三年十一月二十二日(金)

二十三日(土)に戸山サンライズ(東京都)で第六回利用者学習交流会が開催されました。参加人数は百五十人で北は北海道から南は沖縄まで十九支部の人たちが集まりました。

今回のテーマは『どうなるのわたしたちのくらしあきらめない!一人ひとりの権利』でした。内容は、とてもわかりやすく年金や生活保護基準引き下げについて、私たちの生活にどのような影響があるのか今の社会の状況などを学べるような内容になっていました。

一日目の全体学習会では情勢報告・利用者部会員さんたちによる寸劇や会場からの質問や意見を受けて意見交換をしました。

最後の全大会ではグレープとのまとめを報告し合いました。

来年もまた行きたいし、全国利用者部会にも興味が沸きました。

(木村  
泉)

一パーティーに参加しました。来年の全国大会が行われる神奈川の皆さんが楽しいご当地クイズやクルモリの踊りなどで進行してくれました。

### きょうされん 新任職員研修を終えて

2013年11月2日(土)・3日(日)  
(郷原グリーンヒルズ)

二日目は分散会と支部利用者代表者会議に分かれて学習や交流を深めました。支部利用者代表者会議では各支部の役員さんたちが集まり、各利用者部会の取り組み・将来の利用者部会の事・今から作ろうと思っている人たちの意見も交換したそうです。

分散会はABCの三グループに分かれて一日目で話した事や話ができなかつた事、今困っている事をそれぞれ話し合いました。私は今年の十一月からケアホームに入ったため、会議では生活にかかる出費が嵩むのとへり返ることのできる貴重な時間となりました。仲間にとつての良い環境づくりとは何か。グループワークで研修を振り返った際、最終的には、①仲間の生活を豊かにしていくために、社会との繋がりを増やし、世界を拡げていく。②仲間が意欲的に活動に取り組めるよう、仲間の想いを引き出し、良いところは大切にし、更に伸ばしていく。そして何より、③仲間が楽しく過ごせる環境・雰囲気づくりを大切にしていく、という三点にまとまりました。

そして、それらを達成するためには、支援者側は、仲間が主体的且つ自発的に意欲をもつて活動できるよう、きっかけづくりをし、仲間の世界を拡げていくことを大切に、支援していくべき

だということに辿り着きました。また、就労支援センターFLATの湯原さんから「悩んでいる時、よき理解者に出会うことによって癒され、前に進むことができる。しかし、そのためには、自分から歩みだしにくい自分がそうであれば、必ず周りに良き理解者を探しているのではないか。SOSを発信している人がいれば、こちらから相手をサポートできるよう歩み寄ることも大切ではないかと思いま

たが、私たちはそれができるよう支援を心がけることが大切ではないかと思いました。

最後に、仲間にとつてまだだ暮らしていく中での課題は残っていますが、より良い環境にしていくために、今後も仲間に理解していただくためにも、運動を続けてネットワークを拡げていくことを大切にしていかなければならぬと強く実感しました。実践を積み重ねることで少しづつでも必ず変わっていく。これらの学びを活かし、仲間と共に、できることから少しづつ実践していきたいです。

(貢近  
華奈恵)

## 行事日誌

### 9月

- 2日 日本福祉大学・実習開始
- 4日 第一第二作業所・利用者検査
- 7日 第20回もみじ作業所まつり
- 10日 広島文化園大・実習開始
- 11日 広島市立特別支援学校より実習(～13日)
- 13日 第一第二作業所:利用者検査①
- 16日 三育学院バザー
- 17日 広島文化園大・実習開始(～19日)
- 20日 第一第二作業所:利用者検査③
- 21日 きょうされん全国大会 in 福島参加(～22日)
- 23日 広島のうたごえ祭典参加
- 24日 市役所販売
- 25日 きょうされん虹の会学習会
- 26日 大下さん見学来所
- 27日 第三作業所:利用者検査
- 28日 家族会例会
- 29日 映画上映会出店
- 30日 一泊旅行ボランティア打合せ会



### 11月

- 3日 西区民祭り出店
- 6日 文教女子大より実習開始
- 9日 刑務官研修来所
- 10日 広障連対市交渉参加
- 11日 第一第二作業所:電気年次点検
- 12日 介護の日フェスタ:太鼓出演・出店
- 13日 広島福専・県社協より実習開始
- 14日 ふれあいプラザ店番
- 15日 生協ひろしまより見学来所
- 16日 観音中学校職場体験実習(～15日)
- 18日 ミニミニバザール
- 19日 きょうされん広島県支部対県懇談会
- 20日 セルブ藤山見学来所/家族会例会
- 21日 南観音公民館祭り出店
- 22日 南特支文化祭出店
- 23日 市立特支文化祭出店
- 24日 中島小学校・町探検来所
- 25日 県社協より実習開始
- 26日 ふれあいプラザ店番
- 27日 きょうされん全国利用者部会学習交流会
- 28日 S-1サミット選考会
- 29日 障害児こども祭り出店
- 30日 県社協より実習開始
- 31日 きょうされん虹の会署名学習会
- 30日 市立特支販売
- 31日 第一第二作業所クラブ活動
- 31日 第一第二作業所床ワックス作業



### 10月

- 2日 広島市立特別支援学校販売
- 4日 第一第二もみじ作業所:一泊旅行(～5日)
- 5日 西区福祉祭り出店
- 6日 アイラブ作業所祭り出店
- 7日 広島市立特別支援学校より実習(～11日)
- 11日 県社協より実習(～11日)
- 13日 エコ祭り出店
- 14日 プロレス招待
- 15日 在宅障害者実習受入(～18日)
- 16日 広障連・対県交渉
- 18日 家族会例会
- 19日 ひろしまS-1サミット一次選考会
- 20日 聖音町教会バザー
- 24日 第一第二作業所・クラブ活動④
- 26日 もみじ夢フェスティバル
- 27日 中区ボランティア祭り出店
- 28日 吉島小学校PTAバザー出店
- 29日 ふれあいプラザ店番
- 30日 もみじ福音会第59回評議員会・第97回理事会
- 31日 市役所販売
- 31日 プロレス招待
- 31日 もみじ作業所まつり反省会



### お知らせ

皆様もご存じのように今年の4月より消費税率が8%になります。それに伴いこねこね工房でも心苦しいことではありますが、4月から商品の値上げ、内容量の変更等をさせて頂く予定です。よろしくお願い致します。



ケアホーム たんぽぽ 岩尾久美子

さの建物も年々老朽化が目立つていていますが、今年も元気よく乗り切っていきたいと思います。

ほな、いきまひよ



2014

広島  
おといあわせ:もみじ

## もみじ福社会ニュース

# 希望の持てる社会に

昨年五月に公開された「くちづけ」という映画を見られましたか。

末期癌の宣告を受けた父親が、愛する自閉症の娘の将来を悲観して、絞殺してしまうという映画です。「泣ける」「悲しすぎる」「ひどく重い」などなど、「感動」を呼んでいます。

「親の子殺しに感動とは…」

という福祉関係者のやりきなさを訴える声も聞こえます。

しかし、こういった事件は、今の日本にまだ現実であること

日本は、障害をもつ子を安心して社会に託して旅立てる国、希望を持てる国になっていくのでしょうか?

そこで、社会的弱者を社会の一員として包含すべき社会保障制度の動向は、どうでしょうか? 気になる制度改革の中から、障害者問題にも大いに係わる二つを覗いてみます。

ひとつは、生活保護制度改革、もう一つは介護保険制度改革です。

### \*生活保護制度の改革

二六万人という制度開始以来最多の受給者となっている生活保護。政府は生活扶助費を二〇一三年度から三年かけての段階的な引き下げを実施しました。生活保護で細々と生きている障害者は数多く、大きな傷手です。

度。社会保障制度改革国民会議は、本制度についての最終報告書を(二〇一三年八月)で、「介護の

### \*介護保険制度の改革

既に保険料あつて介護なしと揶揄され、総費用の拡大から持続そのものが危惧される同制

度。社会保障制度改革国民会議は、本制度についての最終報告書を(二〇一三年八月)で、「介護の

また、生活保護基準の引き下げによる賃金や他の社会保障水準への影響も心配されます。特に住民税非課税基準にも連動していることから、非課税基準の低下で収入は増えないので新たに住民税負担者が増える上に、

税制転用方式が取られている保育料や障害福祉サービスの負担が増大する恐れもあります。漸減している障害基礎年金が頼りの障害者にとって、ますます生きづらさが増します。

さらに、昨年六月に廃案となつていた「改正生活保護法案」等が十一月五日に参院・厚生労働委員会で審議入り、各界の反対表明が続く中、十三日には参院本会議で可決されました。

申請にあたっては資産や収入記述の書類提出が義務づけされ、必要に応じて親族へ連絡されることが盛り込まれました。障害者や家族にとって最後の砦である生活保護制度も、ますます申請段階から難しくなることが心配されます。

こう見てくると、お先真っ暗で、「障害をもつ子を安心して社会に託して旅立てる国」の姿はつゆ見えず、「くちづけ」のような悲しい事件が収まるとはしない情況に思えます。

さて、財産形成もできなかつた低所得の障害者が六十五歳に到達した時、障害者総合支援法から介護保険優先に移り、一举に無料から有料化(応益負担の世界)へ既に「六十五歳問題」として障害者に恐れられている事態へ踏み込みます。悲痛な叫びにどう応えるべきでしょう。

要するに利用者負担や保険料は引き上げ、給付は抑制する延命策です。

さて、財産形成もできなかつた低所得の障害者が六十五歳に到達した時、障害者総合支援法から介護保険優先に移り、一举に無料から有料化(応益負担の世界)へ既に「六十五歳問題」として障害者に恐れられている事態へ踏み込みます。悲痛な叫びにどう応えるべきでしょう。

### 後援会コーナー

2013年度後援会費を納入頂いている、個人・団体の皆様(敬称略)  
(2013年8月1日~11月30日)

川口	芳也
久米	朱美
清見久美子	友仁
佐伯	茂
日高	韶一
滝沢	紀子
藤井	弘
閑口	和義
飛子	秀子
宮本	昌由
新谷	



### 後援会コーナー

2013年度後援会費を納入頂いている、個人・団体の皆様(敬称略)  
(2013年8月1日~11月30日)

川口	芳也
久米	朱美
清見久美子	友仁
佐伯	茂
日高	韶一
滝沢	紀子
藤井	弘
閑口	和義
飛子	秀子
宮本	昌由
新谷	

### ヤマトナデシコ 様

よつば会 様

虹のコーラス 様

山床義明 様

鷺見紀和 様

ヒヤマ製麺 様

観音新町町内会 様

吉島心身障害児者父母の会いちご会 様



(2013年8月1日~11月30日まで)

## 夢フェスティバルを終えて…

今年で8回目となる“夢フェスティバル”を10月26日(土)に開催しました。

当日は台風の影響が心配され、残念ながら外で行うことができず夢トピアの中での祭りとなりましたが、幸い天気も持ち直し、たくさんの方々に来て頂いて、公園で行う祭りとはまた違う盛り上がりを見せました。地域の方々に、夢トピア・ドリームハウス・第3作業所を知って頂く、交流を深めるという“夢フェスティバル”的目的では、多少とも果たす事ができたと思います。

夢トピア駐車場での飲食コーナー、夢トピア内のフリーマーケット、遊びのコーナーと毎年このとながら多くのお客様で賑わいました。また、第3作業所ではオープンカフェが開かれ、沖田さんのヴィオラの生演奏を聴きながら、ゆったりとした空間でケーキとコーヒーを楽しんでいました。

夢トピア3階で行われたステージでは、地球ファミリー・アンサンブルによる吹奏楽演奏、戸坂わんぱく太鼓による太鼓演奏、エミリーカルテットによる演奏、津田神楽団による神楽舞、そして今年初めて出演して頂いた法輪保育園の園児による踊りと、多くの方々が楽しめる発表揃いで大盛況でした。

また、昨年度同様に目的に掲げている「東日本大震災復興支援」においても、多くの皆様にご理解や温かいご支援を頂き、関係者一同、深く感謝しております。収益金につきましては、東日本大震災復興支援の募金として、きょうされんを通じて寄付致します。皆様本当にありがとうございます。

私事ではありますが、今回事務局長をさせて頂き、多くの方々に支えられて何とか無事に夢フェスティバルを終える事ができました。ご協力ありがとうございました。まだまだ課題はありますが、これからも地域とのつながりを大切にして取り組んで行きたいと思います。

ドリームハウス 上土井 悠



ステージ「戸坂わんぱく太鼓」



ステージ「地球ファミリー・アンサンブル」

### タッキー もみじの新しいながま



河本 麻美  
かわもと まみ

今年三月に中川

高等課程を卒業してクリッキーグループに九月二日から入っています。わからない事がたくさんあります。不安がいっぱいありますが、周りの方やクリッキーグループの職員さんやなかまが、ひとつづつ優しく教えてくれるからこれからもクリッキーグループで頑張りたいと思つています。よろしくお願いします。



豊津 豊  
よたか とよ

今年九月二十四日、島里ハビリセントラルに通院

しながら、こちらの第三もみじ作業所のクリッキーグループでお世話を教えてくれるのは私の先輩なのでうれしいです。クリッキーグループでお休みの時でも、心がハッピーでラッキーでクリッキーラブの人生です。皆さんよろしくお願いします。

### 輝け! New Face

よろしくお願いします!



木内 知幸  
きのうち ともゆき

今年九月二十四日、島里ハビリセントラルに通院

しながら、こちらの第三もみじ作業所のスタッフに加えて頂きました。得意なことは、絵を描くことやものづくり、趣味は山登りです。利用してくれる子ども達に、いつも笑顔で通ってもらえるように、私も笑顔を大切に一回一回の活動を、子ども達と一緒に過ごしていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



川崎 誠  
かわさき まさと

はじめまして、川崎と申します。実は、つい前に専門学校の実習先としてももみじ作業所にお世話になったことがあります。そのようなご縁もあり今回10月1日から夢トピアで仲間とともに一緒にさせて頂くことになりました。まだまだ分からないことばかりで未熟な部分があるかと思いますが、ご指導よろしくお願いします。